

# 令和6年度 療養通所介護センター梅ヶ丘 運営推進会議

令和7年2月26日（水） 16：30～17：15

東京リハビリテーションセンター世田谷 地域交流スペース南

## 【目的】

地域密着型サービス事業所が、利用者、区市町村職員、地域住民の代表者等に対し、提供しているサービスの内容等を明らかにすることにより、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質を確保することを目的としています。

## 運営推進会議 次第

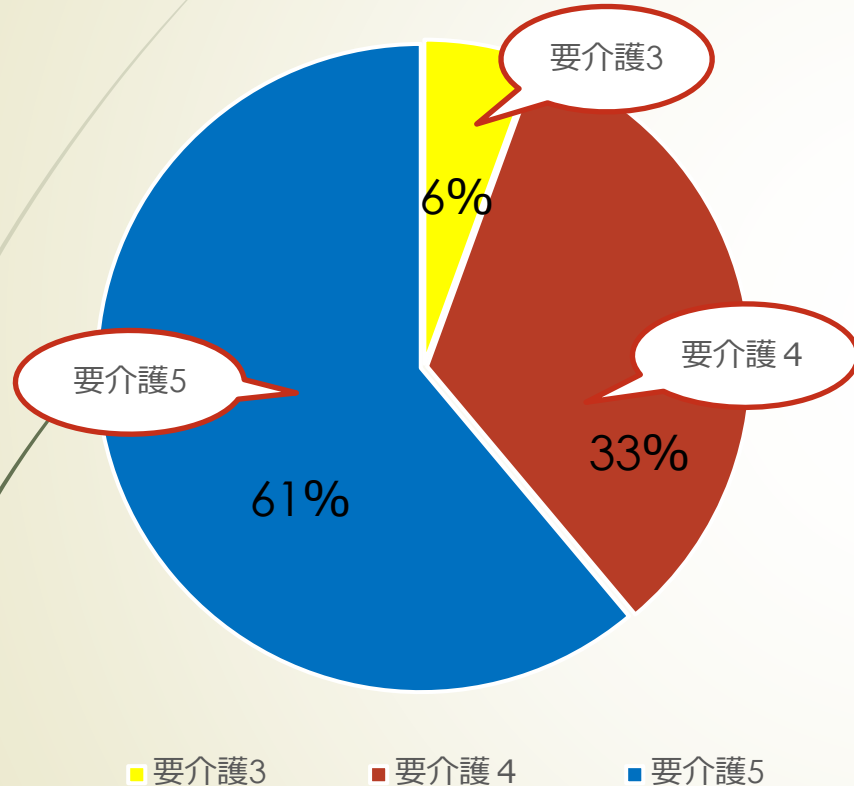
- 1.開会のあいさつ・参加者紹介
- 2.事業所の概要
- 3.介護報酬改定における変更点
- 4.サービス提供状況の報告
- 5.事例紹介
- 6.利用者、利用者家族等からのご意見
- 7.満足度アンケート結果
- 8.質疑応答
- 9.閉会の挨拶

## 事業所の概要

- ▶ 営業日 月曜日～土曜日
- ▶ サービス提供時間 9：00～17：00
- ▶ 休日 日曜日・祝日・年末年始
- ▶ 利用者定員 9名 ⇒6名
- ▶ 職員配置 看護師4名（1名訪問看護兼務）  
介護職4名⇒3名

(令和7年2月10日現在)

## 要介護度割合



## 主な疾患名

- ・脳血管疾患(脳出血・脳幹出血・脳梗塞・くも膜下出血)
- ・難病(パーキンソン病・進行性核上麻痺・  
大脳基底核変性症・多系統萎縮症)
- ・心不全
- ・癌、及び癌末期
- ・認知症
- ・間質性肺炎、誤嚥性肺炎等
- ・関節リウマチ等
- ・糖尿病
- ・褥瘡 等

(令和7年2月10日現在)

# 2024年度 登録者状況

令和7年2月10日現在



要介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	累計
要介護2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
要介護3	0	0	0	1	2	1	1	1	1	1	1	9
要介護4	5	4	5	4	6	4	4	6	6	6	6	56
要介護5	14	14	12	13	12	11	11	12	12	11	11	133
合計	19	18	19	18	20	16	16	19	19	18	18	200

# 令和6年度 介護報酬改定における変更点

## 1. (3) ④ 療養通所介護における医療ニーズを有する中重度者の短期利用の促進

### 概要

【療養通所介護】

- 療養通所介護の利用者は医療ニーズを有する中重度者であり、包括報酬において新たに利用する際の判断が難しい場合があること、登録者以外の者が緊急に利用する必要がある場合があることから、中重度者が必要に応じて利用しやすくなるよう、療養通所介護の基本報酬に短期利用型の新たな区分を設ける。【告示改正】

### 単位数

<現行>  
なし



<改定後>

短期利用療養通所介護費（1日につき） 1,335単位（新設）

\*登録者は月額料金です

# 利用者一覧と支援内容

利用者	性別	年齢	介護度	食事介助	支援内容	移乗方法
A氏	男性	65歳	5	経管栄養	入浴介助 排泄介助 口腔ケア 更衣介助 移乗介助	気切管理 吸引 リフト
B氏	女性	89歳	4	あり		一部介助
C氏	女性	91歳	5	経管栄養 (経鼻)		吸引 創処置 タオルトランス
D氏	男性	85歳	5	経管栄養		吸引 浣腸・摘便 一部介助
E氏	女性	79歳	4	経管栄養		皮膚のケア 一部介助
F氏	男性	69歳	5	あり		皮膚のケア リフト

# 利用者一覧と支援内容

利用者	性別	年齢	介護度	食事介助	支援内容	移乗方法
G氏	女性	77歳	5	経管栄養	入浴介助 排泄介助 口腔ケア 更衣介助 移乗介助	気切管理 吸引 吸入 摘便 皮膚のケア タオルトランス
H氏	女性	96歳	4	セッティング		一部介助
I氏	男性	72歳	4	セッティング		麻薬管理 一部介助
J氏	男性	76歳	5	あり		一部介助 (リフト)
K氏	男性	68歳	5	あり		リフト
L氏	男性	77歳	3	セッティング		一部介助



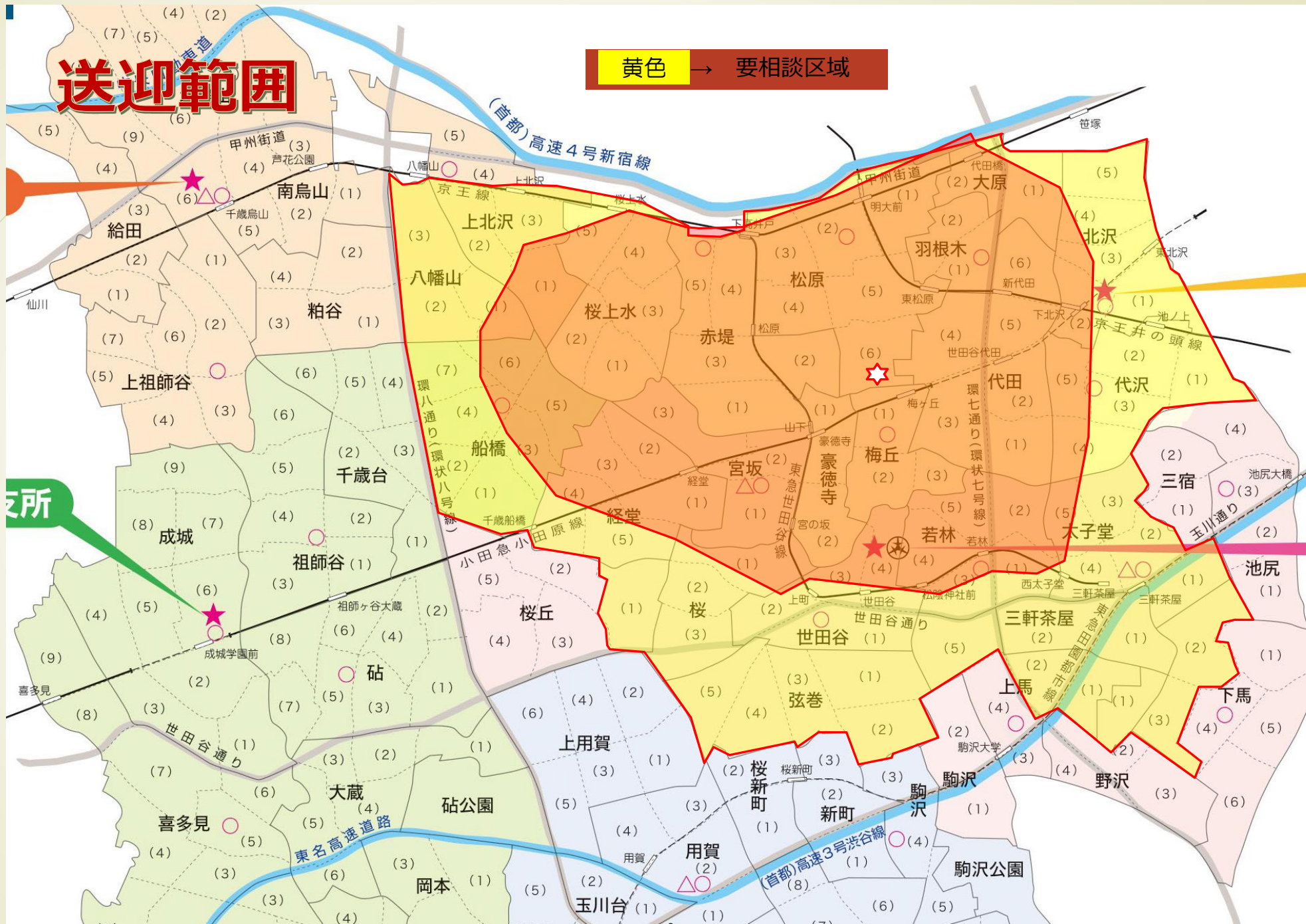
# 利用者一覧と支援内容

利用者	性別	年齢	介護度	食事介助	支援内容	移乗方法	
M氏	男性	84歳	4	あり	入浴介助 排泄介助 口腔ケア 更衣介助 移乗介助	リフト	
N氏	女性	85歳	5	経管栄養		摘便	一部介助
O氏	男性	90歳	5	あり			タオルトランス
P氏	男性	84歳	5	セッティング		ストマ管理 尿器対応 褥瘡処置 麻薬管理 CVポート管理	一部介助
<b>短期利用登録者</b>							
P氏	男性	72歳	4	セッティング		尿器対応	リフト
Q氏	女性	92歳	5	セッティング			一部介助

# 療養通所

# 送迎範囲

黄色 → 要相談区域



支所

## 一日の流れ

## Aさんの場合

9:00 自宅出発

9:20 入浴

寝た状態のまま  
浴槽に入ります

10:10 補水・休息

12:00 昼食

お食事のお手伝い  
をします

13:00 口腔ケア

13:30 散歩・休息

14:20 帰りの準備

バイタル測定、  
排泄確認等

15:00 自宅到着

## Bさんの場合

10:20 自宅出発

10:50 排便コントロール

11:20 部分清拭・陰部洗浄

11:40 口腔ケア

13:00 経管栄養

必要に応じて医療  
処置を実施します

13:30 テレビ鑑賞

15:40 帰りの準備

16:20 自宅到着

## 事例紹介①

- ▶ 77歳 女性 要介護4
- ▶ 既往歴：心不全、心房細動、肺高血圧症、右上腕骨骨折後
- ▶ 家族構成：夫と長女と同居。夫と次女は就労しており、日中は自宅でひとりで過ごしている。
- ▶ 利用目的と経緯：夫が就労しており、日中独居となるためケアマネジャーがサービスの利用を提案。初回利用は本人と家族の意向もあり、お試して3時間のみ利用を開始した。
- ▶ 送迎：車椅子 移動用酸素ボンベを使用
- ▶ サービス利用時のご様子

利用開始時より酸素持続投与をしながら、車椅子やベッド上で過ごしていた。排泄もトイレを利用可能。車椅子上で過ごす時間もとれ、体力的にも利用開始から約5カ月間は安定していた。

心不全症状の悪化があり、徐々にADL低下。本人の希望で在宅で過ごすことを選択。通所利用中は呼吸苦が強く、ベッド上で過ごす。

利用時に意識レベルの低下と酸素化が不安定で、本人より「救急車を呼んで欲しい」「帰りたい」と訴えがあった。主治医とご家族に相談の上で早退し、帰宅した。夕方緊急入院となり、そのまま当サービス利用は終了の運びとなった。

## 【ポイント】

### ➡ ① 申込からサービス利用までが迅速であった

退院カンファレンスに参加させていただいたことで、情報収集が迅速に行え、退院後速やかにサービス開始出来た。

### ➡ ② タイムリーに情報共有できていた

多職種が**MCS\***で繋がっており、チームで治療方針の確認や情報を共有してサポートできた

\*MCS=メディカルケアステーション。全国の医療介護の現場で利用されている地域包括ケア・多職種連携のためのコミュニケーションツール

### ➡ ③ 家族の在宅での管理支援ができた

適宜内服調整があり、夫に声掛けと確認を行い、症状の悪化兆候がないかサポートした

### ➡ ④ 本人の意思を尊重してサポートできた

「自宅で安心してすごしたい」という本人の希望をもとに、在宅生活を支えるため通所利用を継続できた

## 事例紹介②

- ▶ 89歳 女性 要介護4
- ▶ 既往歴：大腿骨転子部骨折、骨粗鬆症、認知症、高血圧症
- ▶ 家族構成：妹と二人暮らし
- ▶ 住居の状況：2階建ての戸建て。本人の住居スペースは1階。浴室は2階。現在使用なし。
- ▶ 利用に至った経緯：2015年 11月 右大腿骨転子部骨折。入院し、リハビリを経て在宅へ。
  - 2020年 8月 通所リハビリ（梅ヶ丘）開始（週1回）
  - 12月 左大腿骨転子部骨折により入院
  - 2021年 5月 リハビリを経て退院 通所リハビリ（梅ヶ丘）再開
  - 2024年 5月 足や首の不調のため自宅でのトイレ等に支障が出始める。
  - 6月 療養通所短期利用。（2回）
  - 7月23日～8月21日 偽通風で入院。退院後、通所リハビリは中止。
  - 8月24日 療養通所介護 短期利用⇒月額サービスへ変更（週2回）
    - ※介護度2から4に変更
  - 2025年 1月 肺炎により救急搬送、入院。
  - 2月 退院し在宅生活に戻る。療養通所再開。
  - ADLの低下に伴い訪問介護サービス導入。現在に至る。

## 現在のADLとサービス利用時の様子

- ・立位10秒程度可能。前方介助で車椅子⇔ベッドへ移乗。
- ・食事はベッド上で介助にて摂取。覚醒がよい時は、離床し、車椅子で召し上がれる。
- ・排泄はトイレの使用が出来る時もある。
- ・日常生活自立度はベッド上（C2）であるが、座位保持が出来る時は塗り絵などを行ったり、帰宅前にセンターを車椅子で散歩している。覚醒がよい時は職員とお話して過ごされる。

## 【ポイント】

16

### ➡ ①センター内の事業所（通所リハビリ）から移行

- ・通所の特徴を活かし、速やかに事業所の移行ができた。
- ・情報共有がスムーズに行えた。
- ・ご本人にとって馴染みのある建物内で、不安なくスタートできた。

### ➡ ②短期利用から月額サービスへの変更ができた

- ・ご家族が療養通所のイメージがわからず、通所サービスの変更に抵抗があった。
- ・単発で利用できる機会があるなら使ってみてもよいと思えた。
- ・ADLの変化のタイミングで提案できた。

### ➡ ③ADLの変化に対応

- ・利用開始後も何度か入院を繰り返しADLが低下してきたが、変化に合わせたサービスを提供できた。



## 2024年度 ご利用者・ご家族アンケート

- ▶ 2024年11月配布・回収（配布16名/回収率100%）
- ▶ 項目「A総合」「B共通項目」→センター全体  
「C事業所・サービス」→療養通所介護センター  
梅ヶ丘について
- ▶ 1 (不満足)～5 (満足)の選択解答 + 自由意見記述  
満足度平均：4.8（前年度4.7）

\* 結果は事業所前の廊下に掲示してあります。

## 2024年度 ご利用者・ご家族アンケート

### ▶ ご意見・ご要望(一部抜粋)

- ・連絡帳は訪問診療の医師への情報伝達にも役立っています。
  - ・長い期間に渡り本人の意思確認のできない中、安定した日々を送ることができていることに心より感謝いたします。
  - ・本人は通所に伺う日を大変楽しみに致しております。
  - ・食事に関して本人は美味しくないと言っています。
  - ・持参している物品を用途別に分けてカバンに入れていますが、違う場所に入って帰ってくる場合があります。
  - ・散歩の機会をできる限り多く取り入れて下さい。
- ⇒**ご本人の希望や体調に合わせて散歩や制作活動、言葉遊び等にお誘いしています。**
- ⇒**持参物品の取り扱いに関して職員間で情報共有を行い、取り違いの予防策を講じています。**

## 本日欠席のご家族、本人からのご意見

- ・ 連絡帳や利用料の請求書など、デジタル化の検討をして下さい。介護サービス利用者の家族向け会員制外部サイトを提供されている企業多数あります。
- ・ 1週間に2回お風呂があるとうれしいです。
- ・ いつもきめ細やかな気配りに感謝しています。ありがとうございます。

- ▶ **住み慣れた地域で、生涯いきいきと、安心してお暮らしいただくために、地域の皆様と常に考えて歩んでいきたいと考えています。**

ご参加いただきありがとうございました。